

まち中に配慮やサポートの輪を広げるために

障がいのある方にとって最大のバリアは、差別・偏見・無関心などの「心のバリア」です。多摩市に住んでいる方と一緒に作った「心つなぐ・はんどぶっく」に、障がいのある方の困りごとや必要な配慮・サポートを分かりやすく掲載しています。今、あなたにできることから始めてみませんか。

配布場所 公式ホームページ、市役所1階ロビー・障害福祉課・第二庁舎1階行政資料室、各市立図書館など



問 障害福祉課 ☎(338)6847、FAX(371)1200

こんなことに困っています～市内に住む障がいのある方の声～

耳の不自由な方



聞こえないことで周りの方とのコミュニケーションが取りづらいです。特に緊急のアナウンスなどが聞こえなくて困ります

こんな配慮やサポートがあると助かります

話しかけるときには、手話・指文字・身ぶり・筆談など色々な方法でコミュニケーションを取ってほしいです。マスクをしていると表情が分かりにくいいため、目線を合わせてもらえると助かります。

車いすを使っている方



通路が狭かったり障害物があるために通れないことがあります。お店の入口に段差があって利用できないことも多いです

こんな配慮やサポートがあると助かります

車いすを使用していると不便なことも多いので、進んで声を掛けてほしいです。その際には、付き添いの方ではなく、私と直接話しをしてほしいです。また、バリアフリーの店が増えると嬉しいです。

目の不自由な方



周りの様子が音でしか分からないため、外出時に道路や電車のホームなどで危険を感じる場合があります

こんな配慮やサポートがあると助かります

危険な時には「止まって」「ストップ」など声を掛けてほしいです。白杖(歩行するときに使う白色の杖)や盲導犬のことを少しでも理解していただけたらうれしいです。

外見では分からない、いろいろな難しさを感じている方 (内部障害・難病・妊娠初期の方など)



見た目では分かりにくく、周りの人に気付いてもらえないことがあります。自分から言えないことも多いです

こんな配慮やサポートがあると助かります

ヘルプマークやヘルプカード(かばんなどに付けて、サポートが必要なことを周りの人に伝えるもの)を持っている方や、困っている様子に気付いたら、「お困りですか?」「お手伝いしましょうか?」など進んで声を掛けてほしいです。



タブレットで手話通訳サービスが利用できます!

市役所の窓口にて、日本手話に対応した「タブレット通訳サービス」を令和4年6月に導入しました。通訳が必要な方は窓口でお申し出ください。

※タブレットは13カ国語にも対応

対応言語など詳細はこちら▶



事業者の方へ 店舗のバリアフリー化を進めませんか?

誰もが安心してお店を利用できるよう、バリアフリー化工事・段差解消スロープ・点字メニューなどの設置費用の一部を助成しています。

事業名事業者による合理的配慮の提供促進に係る助成制度

▲詳細はこちら



12月3日～9日は障害者週間です

●ばらあーと第32回多摩市みんなの美術作品展

今年は2会場で開催。まち歩きしながらアート鑑賞を楽しんでみませんか。

日 12月4日～11日(日)

場 パルテノン多摩市民ギャラリー、豊ヶ丘・貝取商店街(豊ヶ丘4丁目)



▲詳細はこちら

●YouTube多摩市公式チャンネルで配信中!

・講演会「障がいのある人もない人も共に安心して暮らせるまちへ」.....

講師 野澤和弘氏(植草学園大学副学長)・木村英子氏(参議院議員)

・ふく“しごと”多摩市 障害福祉のおしごと魅力発信動画.....

内職インタビュー(仕事の内容・多摩市で働く魅力・施設の様子など)



いつでもご相談ください

障害があることで差別を受けた、差別を見た、障がいのある方へどのような配慮をしたらよいか分からない時などは、障害福祉課にご相談ください。

多摩市障がい者差別解消条例

検索



目の不自由な方へ、たま広報を音読したCD「声のたま広報(デジ版)」を発行しています(一部のパソコンでも再生可)。申し込みは秘書広報課 ☎(338)6812へ。